

Rotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長スローガン「ロータリーを知ってもらおう」

方針「ロータリアンとして尊敬される場面を想像しよう」
「ロータリアンとしての誇りをもって行動しよう」イマジン
ロータリー名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄グランドホテル会長：菅垣 建
副会長：長澤正志
幹事：宮下一成
クラブ会報：長谷川徹2022-23 年度 R.I. 会長
ジェニファー E. ジョーンズ

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-433-8160 FAX.052-433-8161 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1452回例会
(洋食)

退会式／創立32周年記念例会

名フィルの若き音楽監督・川瀬賢太郎様、おめでとうございます。

2023年4月12日(水)
(令和5年)雨 No.31

- 司会 近藤かえで会場運営委員
- ロータリーソング 西川達郎ソングリーダー委員
「君が代」「輝く理想」
- ゲスト・ビジター紹介 中根かつみ親睦活動・家族委員
ゲスト 名古屋フィルハーモニー交響楽団
音楽監督 川瀬賢太郎様
常務理事 長谷川いづみ様
演奏事業課長 小出 篤様

- OB会員 岩井孝真さん
ビジター 名古屋宮の杜RC 会長 高木俊郎さん
会長エレクト 出口 茂さん
- 出席報告 小林昌弘出席・ニコボックス副委員長
会員数81名(免除者10名)
義務者出席58名 免除者出席7名
総数65名 出席率83.33%



会長あいさつ

菅垣 建 会長

今日は創立32周年記念例会です。名フィルの川瀬様、長谷川様、小出様、ようこそお越し下さいました。それから宮の杜

RCの高木会長、出口会長エレクト、ようこそお越し下さいました。OBの岩井さん、久しぶりですね。

私は第1回の会長あいさつで、ロータリーとは何ぞや、という話をしました。それから半年以上経ったので、今日はそのダイジェスト版ということで、内容を思い出して頂きたいと思います。

【ロータリーとは】

- ロータリーの究極の目的は慈善事業にあらず。人を作るところ。それ故、ロータリーは倫理運動である。
- ロータリーは人生の学校である。
- 単なる寄付団体、慈善団体、ボランティアの団体ではない。ロータリアンに奉仕の精神、サービスの心を持ってもらい、世の中に倫理を提唱していく団体である。
- ロータリーとは、自分の職業を倫理的に高め、社

会的信用を得るために、経営者として、お互い切磋琢磨する場(例会)に集まり、胸襟を開いて語り合える仲間と懇親を深めることが主な活動である。

- ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己研鑽によって心を磨くこと(倫理を高めること)、これがロータリーの本願であり、ロータリーの第一義である。寄付もボランティア活動もしなければならないが、これはロータリーの第二義である。
- ロータリーの例会で卓話を聞いて職業倫理を学び、職業人同士の体験談、知識、知恵などを耳にして、職業倫理を学び合うのがロータリー。
- ロータリーは倫理運動であり、職業奉仕を通じて倫理を高めることを目指している。例会は、その倫理を高める場である。直接、倫理を高める何かをしなくても、会員と話す中で、あるいは他の会員の立ち振る舞いの中から、良いことを学ぶだけで倫理を高めることはできる。
- ロータリーでは商売の仕方は学べないが、どのような人間になれば事業が発展繁栄するかが学べる。ロータリーは倫理・道徳運動であり人間性の向上運動である。

【ロータリーの目的】

- 意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、

4月は環境月間／名駅RC 春の健康感謝月間です

< 例会開催予定 >

◇第1453回 4月16日(日) 例会変更
第10回 WFF 会場にて開催(11:15～久屋大通公園)
4月19日(水) 例会変更 4/16 WFF に振替
4月26日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 4/29祝日分
5月3日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 5/3祝日分

◇第1454回 5月10日(水) 通常例会(和食弁当)
誕生日・結婚記念日祝福
「ロータリーの友」紹介
入会式

これを育むこと。

- ロータリーは、奉仕する人を育てることが目的であり、そして、倫理・人格を高められた会員が、個人で団体で、社会に奉仕をして、世界平和に貢献することが目的である。

【2つの奉仕理念】

- ①超我の奉仕……利己の心を超越し、他人のことを思いやり他人のために尽くすこと。
- ②最もよく奉仕する者、最も多く報いられる……サービスを自己の利益や都合より優先させる。利益はサービスの結果。

【まとめ】

- ロータリーとは、例会・卓話などを通じて、倫理観・人格を高め、それを職場・業界・社会に広めることを目的とする団体。どのような倫理観・人格を、どの程度高めると言えば、奉仕の理想＝「超我の奉仕」を心に抱ける程度に高める。そして、この倫理観を常に持つため、四つのテストを実践する。また、このような倫理観・人格をもって、個人あるいは団体で、職場・業界・社会に広めると共に、社会奉仕・国際奉仕を行う。

これがロータリーであり、ロータリアンであると頭の片隅に置いて行動して頂きたいと思います。

□幹事報告

宮下一成幹事

- (1)本日の配布物／クラブ創立30周年記念誌。※岩井前幹事には退会後も使命感を持って編集に携わって頂きました。お礼を申し上げます。
- (2)今月の例会／①4月16日(日)＝WFF会場、11:15～②4月19日(水)＝4月16日に振り替え。
③4月26日(水)＝休会。※次回例会は5月10日(水)。
- (3)WFF:4月16日(日)11:15～(11:10集合)集合・会場:エディオン広場 エリア【D】※雨天決行(場所を変えてテント内で実施)※募金を求められることがありますので千円札をご用意願います。
- (4)石川和昌バスターガバナー『お別れの会』の案内が届いています。
- (5)ニコボックスについて／今期目標達成のために、皆様のご芳志を改めてお願いします。

□退会式

◇サヨナラロータリアン斉唱 西川達郎ソングリーダー



上田和志さん

7年間ありがとうございました。印象に残る思い出としては、1つは神野ガバナー年度に地区スタッフとしてガバナー補佐と12クラブを回らせて頂いたこと。もう1つは入会1年目のクリスマス例会です。セーラー服を着せられて舞台の上でキャンディーズを歌いました。えらいところに来ちゃったなと思いましたが、今となっては良い思い出です。今度東京に転勤します。定期的に名古屋にも戻ってきますので、見かけた時にはお声をかけて下さい。

◇バナー贈呈 菅垣 建 会長

□乾杯 長澤正志副会長

突然のご指名ですが、乾杯をさせていただきます。創立32周年記念例会を祝しまして、またご臨席の皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、乾杯！



□ワールドフード+ふれ愛フェスタ(WFF)

AKBウクレレ演奏のご案内

神野重行会員

今週15日(土)、16日(日)はWFFです。私どもは16日に例会を行います。例会後の13時30分から北側の第2ステージで今年もAKBが演奏をさせていただきます。例会後すぐにお帰りにならず、是非AKBのステージにお越し頂き、応援をお願いします。

□創立30周年記念誌について

記念誌制作委員会

笹谷俊道委員長



本日皆さんお手元にある名古屋名駅RC創立30周年記念誌「30年の歩み」をご覧ください。

表紙をめくりますと2頁に「発刊にあたって」という私のご挨拶が載っています。そこに書いてありますが、名古屋名駅RCは創立

30周年を2021年4月17日に迎え、創立30周年記念例会は同年4月14日に山本裕三会長のもとで行われました。しかし、コロナが猛威を振るっていた時期でもあり、懇親会と記念誌は断念せざるを得ませんでした。実行委員長の岩崎光記さんも非常に残念がっておりました。そこで、せめて記念誌だけは作りたいと次年度に理事会の承認を得て、記念誌制作委員会を立ち上げました。委員長は当時会長の笹谷、副委員長は当時副会長の加藤定伸さんです。そして大変な労力を費やし、この度創立30周年記念誌が発刊できました。前回の20周年記念誌は81頁でしたが、今回は113頁と大幅に増やし、大変しっかりした内容となったと自負しております。

7頁にコンテンツが載っています。巻頭特集ではまずチャーターメンバーに大いに語って頂きました。続いて、名駅新能、台北建成RCとの共同奉仕事業の紹介、そしてSPECIAL INTERVIEWとして神野さんにガバナー年度について語って頂きました。また、各年度の歩みもあります。この10年間を思い出しながら読んで頂きたいと思います。

最後の頁には、記念誌制作委員会ほか制作に携わって頂いた皆さんのお名前を記しています。委員長、副委員長ほか、委員の 菅 正紀さん、菅垣 建さん、河端裕志さん、監修の神野重行さん、小林泰敏さん、日曜や夜にも勤務頂いた事務局の葉山美樹さん、齋藤健治さん、東本仁美さん、そして特別協力として今日お見えの岩井孝真さん、元幹事の加藤祐一さん、その他の方々にも大変お世話になって作り上げた記念誌です。じっくりと読んで頂けると幸いです。



第32回椿賞表彰式

椿賞委員会

川村勝廣委員長



この度は会員の皆様の温かいご協力により、名誉ある椿賞の選考をさせて頂き、ありがとうございました。

名駅RCは1991年に創立しました。初代会長 佐藤勤三さんは基本的な理念として「名駅から世界へ」を掲げ、我が名駅地区から当地区の文化を世界へ発信しようと提唱されました。その理念のもと、当時のチャーターメンバーの皆さんは大変なご苦労を重ねて椿賞を誕生させたと聞いております。

今回が第32回です。第32回の受賞者は、今まさに世界へ向かって羽ばたこうとしておられる若き音楽家の川瀬賢太郎様です。先の理事会において満場一致で決定され、ご本人も快く受け入れて頂きました。川瀬賢太郎様を推薦されたのは神野重行会員です。神野会員、受賞者のご紹介をお願いします。

◇受賞者ご紹介

推薦者 神野重行さん

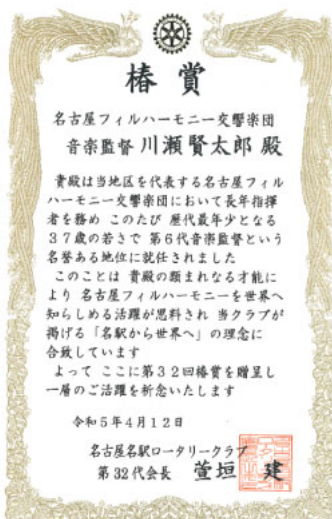
川瀬様は1984年東京でお生まれになりました。私立八王子高等学校芸術コース卒業、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科の作曲指揮専攻を卒業。卒業前の2006年10月、東京国際音楽コンクール指揮部門にて最高位を受賞され、卒業された2007年3月には入賞者デビューコンサートで神奈川フィルハーモニー管弦楽団及び大阪センチュリー交響楽団の指揮をとられました。

2011年、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者にご就任。以降、意欲的な選曲と若さ溢れる指揮で聴衆を魅了されています。先月末まで名フィルの正指揮者としてご活躍され、今月からは38歳という歴代最年少の若さで第6代名フィル音楽監督という名誉ある地位に就任されました。

また、お祖母様がおられる三重県いなべ市の親善大使も務められ、毎年演奏会を開いておられます。

今回の椿賞をご縁に私ども名駅RCとお付き合い頂くと共に、名フィルを通して名古屋の文化度を一層引き上げて頂くことを期待しております。

◇椿賞授与



椿賞受賞記念卓話



名古屋フィルハーモニー交響楽団
音楽監督 川瀬賢太郎様

この度は歴史ある椿賞を受賞させて頂けたことを本当に嬉しく思います。皆様どうもありがとうございます。

私はこの4月から名古屋フィルハーモニー交響楽団の音楽監督として指揮をしています。音楽ではプロですが、話すのは全然プロではございません。です、拙いしゃべりになると思いますが宜しくお願いします。

とても緊張しています。どれくらい緊張しているかと言うと、こんなに素敵なお弁当が全く喉を通らなかったくらい緊張しております。

オーケストラでは100人を相手にいつもリハーサルをしているので、大人数には特に緊張しないのですが、話すということにとっても緊張感を覚えております。なぜなら、オーケストラの前で長く話すと、オーケストラに嫌われるからです。3、4分話しているだけで、もう終わろうよ、という空気になってしまいます。なので、長く話すことに慣れていないのですが、宜しくお願いします。

まず、なぜ音楽家を志したか、からお話したいと思います。僕が指揮者という道を志した、と言うか、夢見たのは幼稚園の頃でした。指揮者がこんなに大変な職業だとも知らず、幼稚園の頃から指揮者になりたい、指揮者になりたいと言い続けてきました。それはどうしてかと聞かれても自分でも理由は分かりませんが、父親がクラシック音楽が大好きで、日常の中に音楽が流れているのが当たり前な生活環境でした。僕は勉強がとても苦手なので、授業という形で音楽と出会っていたら、もしかしたら音楽家を目指していなかったかもしれません。

ちなみに、93年にJリーグが開幕して、周りの友達は皆サッカー選手になりたいと言っていました。僕もピアノの練習をするより、外でボールを蹴っている方が好きでした。今もサッカーは大好きで、この前のW杯はほとんどの試合を見ました。

高校は芸術コースがある学校へ進み、そこではクラリネットを専攻していました。なぜ指揮者を目指しているのにクラリネットかと言いますと、小学校の頃にリコーダーの授業があったのですが、僕はそれがとてもうまく得意でした。ですが、中学でもこのままりコーダーを続けるのは、当時はダサいと思っていたのです。そして、小学校5年生の時に楽器のカatalogを見ていたら、たまたまクラリネットの吹き口がリコーダーに似ていて、「僕、これ得意だ」と思ったのです。

ところが、いざ親に買ってもらったなら全然音が出ません。だまされた、と思いました。しかし、高いお金で買ってもらったのでこれを超えるしかない、ということで、そこからクラリネットを練習して、クラリネットで高校に入りました。

でも、僕の将来の夢は指揮者です。決してクラリネット奏者になりたい訳ではありませんでした。そこで、高校時代から僕の母校になる東京音楽大学の先生に習い始め、東京音楽大学に入学しました。

一応大学の指揮科に入ったので、どんどん夢が近づいているという感覚がありました。卒業したら指揮者になれる、くらいに思っていたかもしれませんが、ですが、大学生活、そんなに甘いものではなく、大学の4年間は指揮者という夢がどんどん遠のいていく毎日でした。ですので、今こうやって指揮者として活動できていて、こんな素敵な賞まで頂けることは本当に夢のような話です。

2006年、僕は在学中にコンクールで何とか最高位を取ってデビューしましたが、名フィルとの最初の出会いは2008年、卒業した翌年でした。たまたまコントラバスを弾いている同級生が名フィルに入団していて、川瀬というのが賞を取ったから是非一度呼んであげて、と声をかけてくれたそうです。

最初に来たオファーはリハーサルの代役でした。それは何かと言うと、定期演奏会のリハーサルはだいたい3日間あります。しかしその時のドイツ人の指揮者がどうしても2日間しか来られない。しかも名フィルにとって久しぶりに演奏する複雑な作品でした。これは事前に1回音を出しておきたい。そこで白羽の矢が立ったのが僕だった訳です。

当時の僕は、いやな仕事だな、と思いました。なぜかと言うと、オーケストラというのは相性が大事で、相性が悪かったらもう2度と呼ばれない厳しい世界なのです。自分のコンサートでうまくいかなかったのならまだ諦めはつきますが、リハーサルの代役でうまくいなくて2度と呼ばれないのはまっぴらごめんだと思いました。2度3度、いいえやりません、とお断りしていたのですが、さすが名フィル、押しがものすごく強くて、4、5回目に僕は折れて、リハーサルの代役という初共演を引き受けました。でも、なぜかそれがうまくいき、指揮者、正指揮者、そして今の音楽監督につながる訳です。

2011年から名フィルの音楽的家族に加えてもらい、右も左も分らず指揮者としてはひよっこの僕に全てを教えてくれたのが名フィルです。僕からしてみたら、お父さんお母さんのようなオーケストラでもあります。そんな名フィルの音楽監督に4月から就任させて頂き、これまで以上に頑張っていきたいと思っています。

特に、これまで我々はステージの上からは是非コンサートにご来場下さいと言うことが多かったのですが、これからはアーティストが舞台から降りて皆さんのもとにいく時代なのかなと思います。音楽監督である私が率先して皆さんのもとに出向いて音楽の魅力をお伝えする機会を持ちたいと思っています。また、音楽業界だけでなく、地域の横のつながりをこれからもっと大事にしていきたいと思っています。

例えば、3年程前、野球の折れたバットがお箸になるということで、それなら折れたバットが指揮棒

にもなるのではないかとあってツイートしたら、2日後に中日ドラゴンズさんが名乗りを上げて下さり、今、名フィルと中日ドラゴンズ、授業で指揮棒を作って下さる名古屋聾学校の生徒さんとで取り組みを始めました。このように少しずつ音楽を通じて横のつながりを広げていけたらと思っています。

最後になりますが、椿賞というきれいなお花の名前がついた賞を頂きました。本当に嬉しく思います。僕の仕事はステージの上でオーケストラの皆さんが椿のように輝くことだと思っています。そして、そのための水やりや良い土を育てることが僕の仕事だと思っています。これからも名フィルは頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。本日はありがとうございました。

会員情報変更のお知らせ

石川仁志さん

勤務先新 FAX 番号：585-2156

近藤元帥さん

新役職：近藤産興(株) 代表取締役専務

大勝浩二さん

勤務先新住所：〒460-0008 中区栄2-11-7 伏見大島ビル704

ニコボックス 森畑 明出席・ニコボックス委員長

- 本日は創立記念例会のご開催、誠におめでとうございます。また、日頃から当クラブへのご支援を頂き、重ねてお礼申し上げます。(名古屋宮の杜RC 高木俊郎さん)
- 32周年おめでとうございます。本日は宜しくお願い致します。(名古屋宮の杜RC 出口 茂さん)
- ご無沙汰しております。記念誌、ありがとうございます。(OB会員 岩井孝真さん)
- ①川瀬賢太郎様、世界でのご活躍を期待しています。②高木会長、出口会長エレクト、ようこそおいで下さいました。(菅垣 建さん)
- 創立32周年記念例会を祝して。椿賞表彰式、おめでとうございます。川瀬様の卓話、楽しみにしています。(笹谷俊道さん)
- 名古屋名駅RCの創立32周年及びコロナを乗り越えての30年記念誌発刊を祝して。(長澤正志さん)
- 椿賞、川瀬賢太郎様の受賞を祝して！(宮下一成さん)
- 新年度が始まり、今年度私自身の大学院修了の繰り上げ申請が通過しました。そして昨日は、次男の第一希望である「講談社」への内定も決まり、良きスタートが進んでいます。(お祝いの意味も込めて)(中根かつみさん)
- 第32回椿賞受賞式を記念して。(川村勝廣さん)
- 川瀬賢太郎さんに椿賞をお渡しできました。おめでとうございます。(神野重行さん)
- 川瀬様、椿賞受賞おめでとうございます。先週の土曜日に川瀬様指揮の名フィルコンサートに行きました。マーラーの第5番は魂が揺さぶられる程の名演でした。上田さん、楽しい思い出をありがとうございました。お元気で。(西川達郎さん)
- 柴さん、文部科学大臣賞表彰、誠におめでとうございます。麻雀やっただけではないんだ！えらい。えらい。(日比野三吉彦さん、服部清純さん)
- 初孫が幼稚園に入園しました。(藤井國隆さん)
- 第32回椿賞受賞者 川瀬賢太郎様の記念卓話と、川瀬様指揮の名フィルのコンサートを楽しみにしています。(小室健次郎さん)
- 本日、日経新聞の12面に当社日本宅配システムの全面広告を掲載しております。玄関扉を開けずに荷物が受け取れる社会を目指して参ります。(古田昇平さん)
- この度、「透析熱回収ヒートポンプシステムの開発」で「令和5年度文部科学大臣表彰(科学技術賞・技術部門)」を受賞しました。この受賞を励みに、これからもヒートポンプの開発や普及に努めていきたいと思っています。(柴 芳郎さん)
- 健康に感謝する毎日です。(新井秀夫さん)
- 長男の大学入学、娘の11歳の誕生日を祝って。(小林泰平さん)
- 健康に感謝して。(稲垣 真さん、岩崎光記さん、秋田和美さん)
- その他、本人誕生日の城野八代江さんよりご芳志を頂きました。